

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026年2月18日

訪日外客数（2026年1月推計値）

◇1月：3,597,500人、韓国で全市場初の単月110万人超え

- 1月の訪日外客数は3,597,500人で、前年同月比では4.9%減となった。また、韓国においては前年同月比21.6%増の1,176,000人となり、全市場で初めて単月110万人を超えた。
- 2025年は1月下旬であった旧正月（春節）が今年は2月中旬となったことによる影響が一部市場で見られた一方、多くの市場でスノーシーズン需要等の高まりが見られたことにより、東アジアでは、韓国、台湾、東南アジアでは、タイ、インドネシア、欧米豪では米国、豪州を中心に訪日外客数の増加が見られた。
- 韓国、台湾、豪州で単月過去最高を更新したほか、米国、インドネシア、フィリピンなど17市場で1月として過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2026年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 1月過去最高の17市場は、タイ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2026年 訪日外客数・出国日本人数

2026 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2025	2026	伸率 Change %	2025	2026	伸率 Change %
1 Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,500 *	-4.9 *	912,298	1,072,600 *	17.6 *
2 Feb.	3,258,491 (2,965,065)			1,181,062		
3 Mar.	3,497,755 (3,149,434)			1,423,449		
4 Apr.	3,909,128 (3,587,187)			961,386		
5 May	3,693,587 (3,368,573)			1,076,756		
6 Jun.	3,377,985 (3,110,559)			1,054,045		
7 Jul.	3,437,118 (3,161,501)			1,205,435		
8 Aug.	3,428,406 (3,072,139)			1,648,279		
9 Sep.	3,267,228 (2,893,816)			1,394,525		
10 Oct.	3,896,524 (3,579,441)			1,243,575		
11 Nov.	3,518,195 (3,224,810)			1,330,014		
12 Dec.	3,617,700 *			1,300,741		
1~1 Jan.-Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,500 *	-4.9 *	912,298	1,072,600 *	17.6 *
1~12 Jan.-Dec.	42,683,700 *			14,731,565		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan.
Crew members are excluded.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

◆Note 5. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

2026年1月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2025年比）

Visitor Arrivals for Jan. 2026 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2025)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2025年 1月	2026年 1月	伸率(%)	2025年 1月	2026年 1月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,781,629	3,597,500	-4.9	3,781,629	3,597,500	-4.9
韓国	South Korea	967,100	1,176,000	21.6	967,100	1,176,000	21.6
中国	China	980,520	385,300	-60.7	980,520	385,300	-60.7
台湾	Taiwan	593,431	694,500	17.0	593,431	694,500	17.0
香港	Hong Kong	243,687	200,000	-17.9	243,687	200,000	-17.9
タイ	Thailand	96,811	115,100	18.9	96,811	115,100	18.9
シンガポール	Singapore	45,707	48,500	6.1	45,707	48,500	6.1
マレーシア	Malaysia	75,003	72,500	-3.3	75,003	72,500	-3.3
インドネシア	Indonesia	63,230	74,000	17.0	63,230	74,000	17.0
フィリピン	Philippines	72,185	79,200	9.7	72,185	79,200	9.7
ベトナム	Vietnam	50,415	52,800	4.7	50,415	52,800	4.7
インド	India	16,189	18,500	14.3	16,189	18,500	14.3
豪州	Australia	140,185	160,700	14.6	140,185	160,700	14.6
米国	U.S.A.	182,556	207,800	13.8	182,556	207,800	13.8
カナダ	Canada	42,301	48,000	13.5	42,301	48,000	13.5
メキシコ	Mexico	9,332	15,300	64.0	9,332	15,300	64.0
英国	United Kingdom	26,378	29,500	11.8	26,378	29,500	11.8
フランス	France	16,515	20,600	24.7	16,515	20,600	24.7
ドイツ	Germany	12,737	18,300	43.7	12,737	18,300	43.7
イタリア	Italy	8,792	12,000	36.5	8,792	12,000	36.5
スペイン	Spain	7,401	10,100	36.5	7,401	10,100	36.5
ロシア	Russia	4,931	9,800	98.7	4,931	9,800	98.7
北欧地域	Nordic Countries	9,184	11,800	28.5	9,184	11,800	28.5
中東地域	Middle East	11,873	17,500	47.4	11,873	17,500	47.4
その他	Others	105,166	119,700	13.8	105,166	119,700	13.8

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2025年の数値は暫定値、2026年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

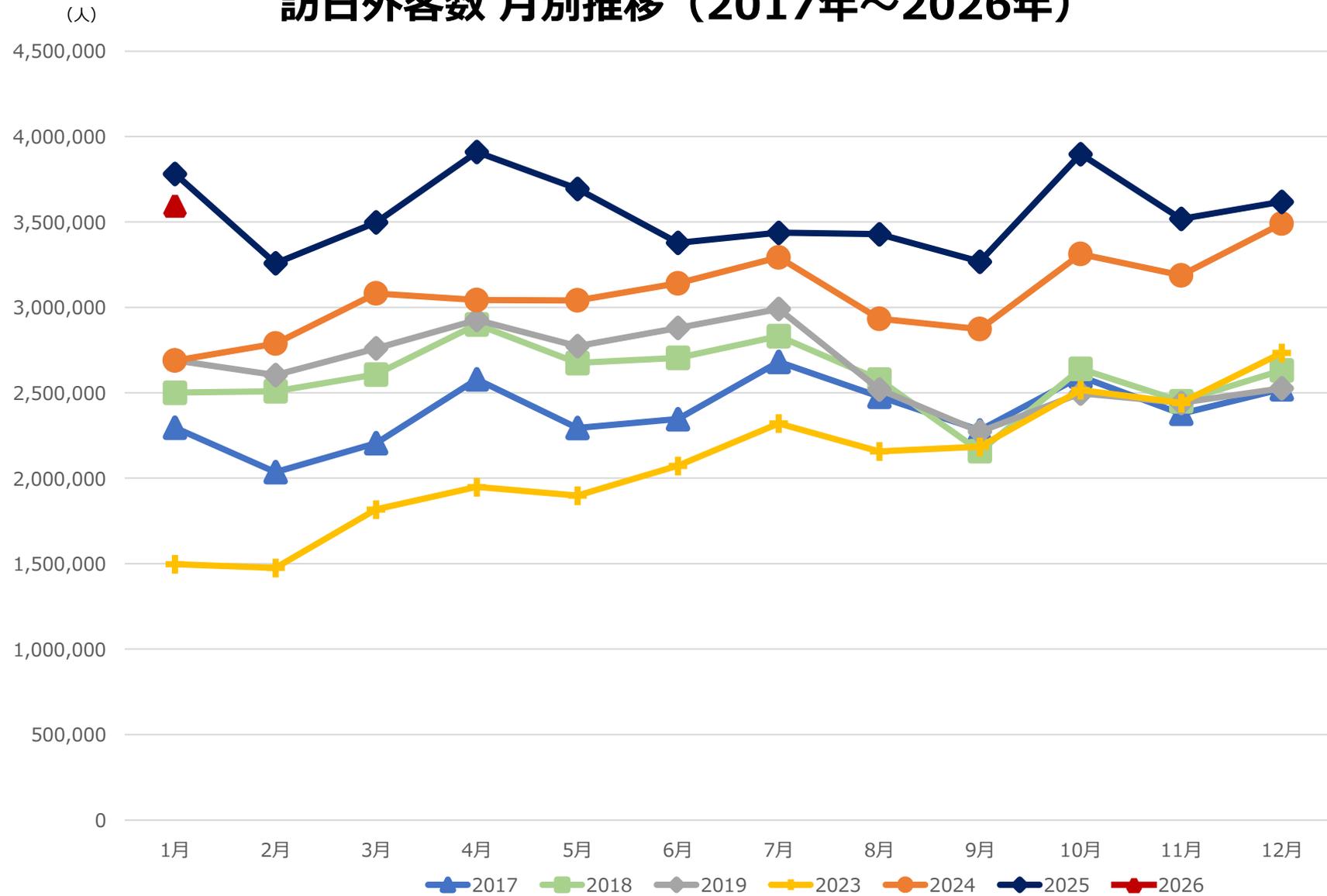
◆Note 2. Above figures for 2025 are provisional, while figures for 2026 are the preliminary ones estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2026年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2026年1月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2026年2月13日時点)として
いる。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航
空路線で2026年1月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

注) 多くの市場において円安傾向が継続している。

注) 欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となってい
る。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、1,176,000人(前年同月比 21.6%増)であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が今年
は2月中旬となったことはあるものの、継続する訪日旅行人気に加え、釜山～福岡間の増便をはじめとした航空座席数の増加、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 中国は、385,300人(前年同月比 60.7%減)であった。前年は1月下旬から始まった春節が今年
は2月中旬となったことに加え、中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があっ
た。航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- 台湾は、694,500人(前年同月比 17.0%増)であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が
今年も2月中旬となったことはあるものの、継続する訪日旅行人気に加え、台北桃園～成田
間の増便をはじめとした航空座席数の増加、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数
は単月として過去最高を記録した。
- 香港は、200,000人(前年同月比 17.9%減)であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が
今年も2月中旬となったことに加え、前年同月と比較して航空座席数が減少したことの影
響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- タイは、115,100人(前年同月比 18.9%増)であった。経済の不透明感による海外旅行需要の
低迷の影響等があるものの、冬季の日本人気、2025年12月のバンコク～仙台間の復便や、
バンコク～新千歳間、バンコク～成田間、バンコク～関西間の増便の影響等もあり、訪日外
客数は1月として過去最高を記録した。

- シンガポールは、48,500人（前年同月比6.1%増）であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことに加え、割安な訪中旅行の人気の高まり等があるものの、冬季の日本人気の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、72,500人（前年同月比3.3%減）であった。冬季の日本人気やクアラルンプール～新千歳間の増便の影響等があるものの、前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことに加え、スクールホリデーのずれや、査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- インドネシアは、74,000人（前年同月比17.0%増）であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったことの影響等があるものの、イスラム教の断食期間前の旅行需要の高まりに加え、祝日や冬季の日本人気の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、79,200人（前年同月比9.7%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、冬季の日本人気やマニラ～新千歳間の増便、クルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、52,800人（前年同月比4.7%増）※であった。前年は1月下旬から始まった旧正月が今年は2月中旬となったこと、経済の先行き不透明感による海外旅行需要の減少の影響等があるものの、ハノイ～広島間、ホーチミン～中部間の増便等による航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
 - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、18,500人（前年同月比14.3%増）であった。冬季の日本人気や、ベンガルール～成田間、デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便や経路便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、160,700人（前年同月比14.6%増）であった。1月はウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、2025年12月のシドニー～新千歳間の復便や12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。
- 米国は、207,800人（前年同月比13.8%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、ウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、祝日の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

- **カナダ**は、48,000人（前年同月比 13.5%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、15,300人（前年同月比 64.0%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、経路便の多様化や継続する訪日旅行人気に加え、割安な旅行商品の販売や12月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、29,500人（前年同月比 11.8%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、ウィンタースポーツ目的等による訪日需要の高まりや継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、20,600人（前年同月比 24.7%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりやクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、18,300人（前年同月比 43.7%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、12,000人（前年同月比 36.5%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、10,100人（前年同月比 36.5%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、9,800人（前年同月比 98.7%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、12月下旬から始まったスクールホリデーや年末年始の大型連休に加え、経路便の多様化やクルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、11,800人（前年同月比 28.5%増）であった。1月は訪日需要が落ち着く時期であるものの、訪日旅行に関する現地での報道の増加に加え、前年同月と比較した航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、17,500人（前年同月比 47.4%増）であった。イスラム教の断食期間前の旅行需要の高まりに加え、継続する訪日旅行人気や前年同月と比較した航空座席数の増加および中東地域各国におけるスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は1月として過去最高を記録した。